

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大 宮

小学校

児童数

87

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.92	17.42	32.53	35.28	48.30	9.37	147.00	20.14	51.33
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.33	15.70	37.03	34.03	32.44	9.72	141.50	15.41	50.76
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子は2種目（20mシャトルラン・50m走）、女子は2種目（50m走・ソフトボール投げ）において全国平均を上回った。女子の立ち幅跳びは、大阪市平均を上回った。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に肯定的に答えた児童の割合は、男子が95.0%で大阪市平均より1.5%高く、女子が88.9%で大阪市平均より3.4%高かった。

「1週間の総運動時間が60分未満の子ども」は、男子が10.8%で大阪市平均より0.9%少なく、女子が20.0%で大阪市平均と同じであった。

男子も女子も体を動かすことは好きな児童が多いが、運動能力の平均値は高いとは言えない。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度から研究教科を体育に定め、実践を積み重ねてきた。体力・運動能力を高めるだけでなく、「楽しい！」と思える授業の必要性について全教職員で研修を深めることができた。研究の柱である自尊感情を育てるために児童が主体的になる仕掛けづくりや友達との交流を中心とした対話的な時間の確保をすることで深い学びにつながるよう、取り組んできた。

また「トップアスリート小学校ふれあい事業」を活用し、4年生にラグビー、5年生にバスケットボール、6年生にバレーボールの体験授業を行った。さらに、区役所の事業を活用し、1年生にダンス、2年生にボール投げ、3年生にとび箱の指導を外部講師から受けた。加えて、PTAと連携をして週2回第2グラウンドを開放し、下校後も児童が安心して体を動かすことができる環境を整備した。

学校全体の児童の印象として、運動への苦手意識をもつ児童とインドアな児童が増えてきているように感じる。これからは、児童の体力向上につながるように授業改善していくとともに、体を動かすことの楽しさを伝えることができるような取組を学校全体でさらに推進していく。